

アルティマベース

アルティマベースは、主に現地で発生した森林発生材を循環し、緑化するために開発された微生物資材です。

建設段階で発生する伐採木や伐根材などは、撥水性を持ちタンニンなどのフェノール酸、タンニン酸などの植物生長阻害物質によって、そのままの状態では現地の法面などの使用は発芽不良や発育不良を起こします。そこで開発されたのがアルティマベースです。アルティマベースは、保水性や保肥性の高い材料をベースに有用な微生物群を多く含んだ有機質肥料を添加したもので、森林発生材ファイバーに添加して植物が生育しやすい森林土壌に近い環境にする資材です。

特徴
1

現地で破砕機などでファイバー化された森林発生材や、木質繊維質材のアルティマファイバーと組み合わせるために開発された商品です。

特徴
2

アルティマベースの有用微生物群は、全て自然界の中から生まれたものですから、安心して使用できます。

特徴
3

天然ゼオライトにより、微生物の活性化を促します。



製造元 **東洋林産化成株式会社**
工場 〒728-0027 広島県三次市三原町16-1
TEL (0824) 63-1819



アルティマベースとアルティマファイバーを混合すると植物の生育が飛躍的に向上します。

乾燥地や寒冷地用にSタイプ(石州瓦粉砕加工品入)も用意しています

《G・O・R工法 標準配合例 1㎡あたり》

- チップ破砕材 または アルティマファイバー 1,200 ㍔
- 緑化補助材 (アルティマベース) 320 ㍔
- 高度化成肥料15-15-15 4kg
- 遅効性肥料 (ハイコントロール650) 4kg
- 用途別選択
樹脂系結合剤 (I タイプ ラス有り) 4kg
無機質系安定材 (II タイプ ラス無し) 16kg
- 種子 現地配合

有用微生物群が植物や土壌微生物に働きかけて、健全な植生と基盤を創出します
伐採木や伐根材の再利用に最適です

無機質系安定材により

**1 : 0.8 より緩勾配では
ラス金網は不要です。**

※但し、土壌の性質によりラス金網を使用する場合があります。

アルティマベースの分析データ (例)

(財)日本食品分析センター

分析試験項目	結果	分析方法
放線菌数	1.1×10 ⁷ /g	アルブミン寒天平板培養法①
放線菌数	1.0×10 ⁷ /g	アルブミン寒天平板培養法②
好気性細菌数	6.4×10 ⁹ /g	アルブミン寒天平板培養法
糸状菌数	2.7×10 ⁶ /g	ローズベンガル寒天平板培養法

①: 培養条件=30℃・14日間 ②: 培養条件=55℃・14日間

【製造】



広島県三次市三原町16-1 TEL(0824)63-1819 FAX(0824)63-2751

NPO 法人日本パーク堆肥協会会員

東洋林産化成株式会社

【販売】

株式会社 イズカ

〒693-0043 島根県出雲市長浜町337-13
TEL (0853) 28-2688(代) FAX (0853) 28-2802
E-mail: info@izuka.co.jp http://www.izuka.co.jp